

P114b 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(8)

山村一誠 (ISAS/JAXA)、「あかり」チーム

赤外線天文衛星「あかり」の取得した貴重なデータを天文学研究に有効に活用するため、われわれは衛星運用終了後もデータ処理・解析・アーカイブ活動を継続している。「あかり」データは、処理に特別なツールとスキルを必要とするが、2013年4月より活動している「あかりデータ処理・解析チーム」では、あらかじめ処理を施したデータプロダクトを作成・公開することで、ユーザーが必要なデータを検索・閲覧し、ただちに科学的解析に取りかかることを可能にし、「あかり」データのより広い天文学研究への利用を進めようとしている。

現在我々は「遠赤外線微光天体カタログ」、「中間赤外線全天イメージマップ」、「遠赤外線スロースキャン観測データ」、「中間赤外線スロースキャンデータ」、「遠赤外線 FTS 分光データ」を、今年度中の公開を目標に作成中である。講演・ポスターではこれらのデータの内容を紹介し、星形成研究を中心とした科学研究への効果的な利用方法について議論する。

我々は、「あかり」データの科学的価値を高めるため、データに興味を持つ研究者の、データ作成・評価・アーカイブ活動への参加を呼びかけている。また、独自の視点で大規模な系統的解析を行ったユーザーが作成したデータ、公開データから作成した二次プロダクトのアーカイブ支援も行っている。興味のある方は iris_help@ir.isas.jaxa.jp まで遠慮無くお問い合わせいただければ幸いである。